

令和4(2022)年度学校保健及び学校安全表彰(文部科学大臣表彰)について

このことについて、文部科学省から下記のとおり被表彰者の決定について通知がありました。

学校保健及び学校安全表彰は、学校保健及び学校安全の普及と向上に尽力し多大な成果をあげた個人、学校及び団体を文部科学大臣が表彰するものです。

表彰式は11月10日(木)に、岩手県で開催される「令和4年度全国学校保健・安全研究大会」の中で執り行われる予定です。

なお、報道発表は、文部科学省より10月12日(水)に行われました。

記

〈学校保健関係〉

1 橋本 憲一 氏(75歳) 大田原市立金田北中学校 学校医

【勤続年数】33年

【功績概要】

コロナ禍における健康指導として、感染防止としてのマスクの効果や、子宮頸がんワクチンの有効性の説明を行うなど、学校医として保健衛生面での安全意識の向上に貢献した。

2 植原 雅章 氏(63歳) 栃木市立大平東小学校 学校歯科医

【勤続年数】27年

【功績概要】

栃木県歯科医師会において役員を務め、口腔衛生教育地域活動、幼児や学童へのフッ素塗布、よい歯の学校コンクール等の事業を実施し、本県の学校歯科保健の普及・向上に貢献した。

3 古川 祐見子 氏(64歳) 県立小山西高等学校 学校薬剤師

【勤続年数】26年

【功績概要】

児童生徒の健康で安全な学習環境づくりのため、学校環境衛生検査に取り組み、適切な指導・助言を通して学校環境衛生の向上に貢献した。

平成29年度“学校における環境衛生管理の手引書”(「とちぎの学校環境衛生管理」)作成において、委員として地域情報を取りまとめ、提案を行った。

4 那須塩原市立日新中学校 校長 吉田 一志

【児童生徒数】292名

【功績概要】

「チーム力」を生かして、生徒が自主的に健康管理や時間の管理の意識を高める活動を実践し、全校生徒や保護者に向けて啓発活動を行った。

地域学校保健委員会では学区内の小学校・幼稚園・保育園の関係者、民生委員を含めて話し合いや講演会を行い、地域全体の健康意識の醸成に貢献した。